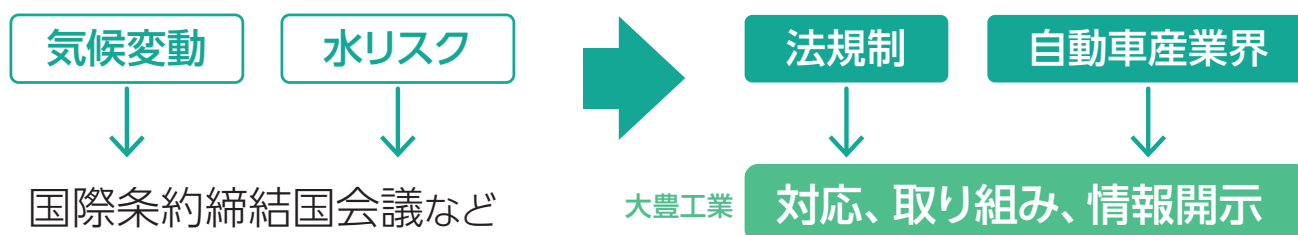


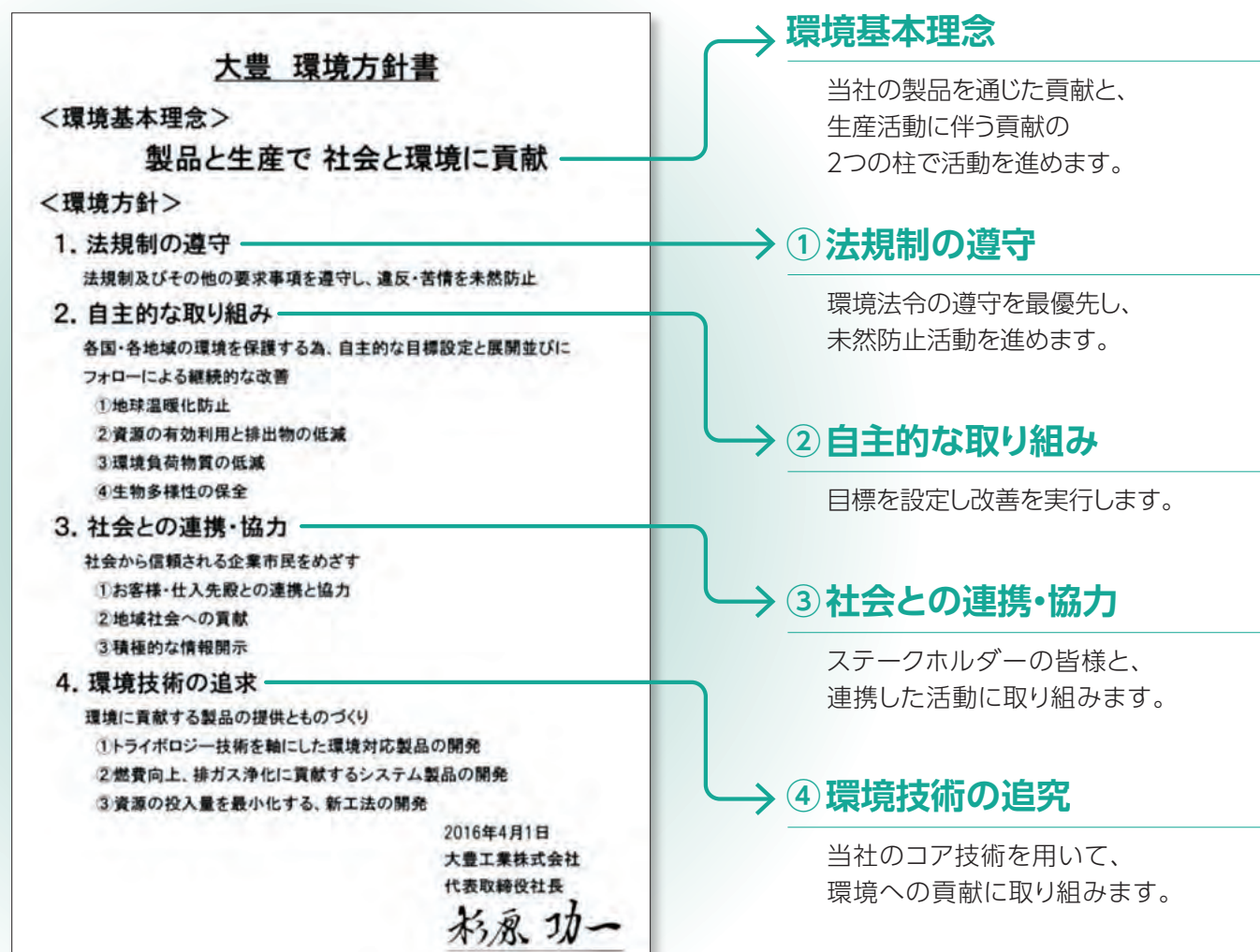
環境に関する社会動向の変化を踏まえ、 持続可能性を考慮した企業活動を推進します。

●環境問題の深刻化と当社の関わり



深刻化する地球環境問題に対する社会動向の情報を収集しています。

法規制や自動車産業界の施策に対し、当社の理念、対応すべき方針を「大豊 環境方針書」としてコミットメントしています。





●環境に関する中期的な取り組み

大豊 環境方針書のコミットメントを実現するため、2016－2020年の5カ年を対象とした、「第6次大豊環境取り組みプラン」を策定しました。

取り組み項目			5カ年の取り組み (環境方針との対比)	
低炭素社会の構築に向けた取り組み	新車CO ₂ ゼロ	自動車の燃費向上に寄与する製品開発の推進	製品	・環境配慮製品の拡販による、環境貢献の拡大 ・EV、FCVなどの環境対応技術に直接貢献する製品開発 ④ 環境技術の追究
	工場CO ₂ ゼロ	生産活動における省エネ活動の徹底と温室効果ガス排出量の低減 物流活動における輸送効率の追求とCO ₂ 排出量の低減	生産	新設する生産ライン導入時にエネルギー効率を評価するしくみの導入 など ② 自主的な取り組み
循環型社会の構築に向けた取り組み	循環型社会の構築	生産における排出物の低減と資源の有効利用 梱包資材の使用量低減と資源の有効利用		排水や廃液類を低減する処理技術の導入 など ② 自主的な取り組み
	新規			
	水インパクト最小化	各国、各地域に合わせた水課題の対応		海外を含めた各拠点の水に関するリスクを把握し、各国、各地域に合わせた取り組みの推進 ② 自主的な取り組み
環境保全と自然共生社会の構築	新規	地域とつなぐ、自然保全活動		
	自然共生社会づくり(生物多様性の保全)	世界とつなぐ、環境助成活動の強化 未来へつなぐ、教育貢献の強化 バイオ緑化、森林保全活動		会社の周辺地域を調査し、動植物、水などの自然資源保護の推進 ② 自主的な取り組み
環境経営	マネジメント	連結環境マネジメント(違反苦情未然防止)		活動範囲のグローバル化 ① 法規制の遵守
		サプライヤーと連携した環境活動の推進		
		環境教育活動の充実と推進		
		環境情報の積極的な開示とコミュニケーション活動の充実	—	活動範囲のグローバル化 ③ 社会との連携・協力

今後の環境活動のキーワード



グローバル化



環境マネジメントの統一的な体制構築

生物多様性の保全



水、動植物などの自然資源を保護